



当製品へのご質問、トラブル対応につきましては、弊社アフターサポートまで、お問い合わせ下さい。

使用条件:お召様が単独でこの製品を使用しないで下さい。使用される場合には、大人の方が付き添いをお願いします。

高熱対応:ESCは使用中に高温になる場合がありますので、取り扱いには十分注意して下さい。

ハンダ付け:入出力ワイヤーおよび接続をハンダ付けするときは、最小定格電力 60W のハンダゴテを使用して下さい。

バッテリーの取り外し: 使用後は必ずバッテリーを取り外し、バッテリー接続状態で ESC を保管しないで下さい。

可燃性物質:潜在的な火災の危険を防ぐために、ESC を可燃性物質から遠ざけて下さい。

過熱警告:ESC が過熱したり、煙を発したり、燃えている兆候が見られる場合は、直ちに使用を中止し、バッテリーを取り外し、安全な場所に車両を移動させて下さい。

- 5 つの機能：General, Throttle, Brake, Boost, Turboの5種のモードでRC ドリフトに最適なパフォーマンスを提供。
- フラールレースとヒートシキング設計：効率的な熱放散を確保し、厳しい条件下でも一貫したパフォーマンスを実現。
- 強力な 32 ビット マイクロプロセッサ搭載：“洗練”されたスロットル応答、加速、“直進性”、ドライバビリティを提供。
- Bluetooth：Apple / Andriod の専用アプリを介してプログラミングとファームウェアのアップグレードが可能。
- データログ機能：リアルタイムにESC 温度、モーター 回転数、電圧、ブースト値を確認可能。

Elite ESC で究極の RC ドリフト パフォーマンスをご体験下さい。

トリガーをフルスロットル位置まで引くと、青い LED が 3 回点滅し、モーターがピープ音を 1 回鳴らしてフルスロットル位置を保存します。

トリガーをフルブレーキ位置まで押すと、青色の LED が 3 回点滅し、モーターがピープ音を 2 回鳴らしてフルブレーキ位置が保存されます。

トリガーをニュートラル位置に放すと、青い LED が 3 回点滅し、モーターがピープ音を 3 回鳴らしてスロットル調整の完了を示します。

- 送信機のスロットルがリバースに設定されている場合でも、上記と同じ方法で設定して下さい。

STANDARD ACCESSORIES	
Accessories items	QTY
Individual Body	1
Instructions Sheet	1
Cooling Fan	1
In/Output Wire 14AWG	5
Cooling Fan cover (Alum)	1
Capacitor Pack (1000uf/6V/3-in-1)	1
Double-sided tape	2

- Black wire RX-
- Red wire RX+6.0V
- White wire RX-Signa

トラブル内容	トラブル原因	トラブル対策
- ESCを起動させようとしても、LED点灯せず、モーター、冷却ファンも動作しない。	1. ESCに電力が供給されていない。 2. ESCスイッチが破損している。 3. ESC本体が破損している。	1. ESCとバッテリーのコネクターが適切に半田付けされているか、接続されているかを確認して下さい。 2. 壊れたスイッチを交換。
- 運転中にモーターが突然停止したり、出力が大幅に低下した。	1. 受信機が外部からの干渉の影響を受ける。 2. ESCがバッテリーリガット/高電圧保護モードに入った。 3. ESCが熱(過熱)保護に入った。 4. センサー不良により、センサーレスモードに切り替わった。	1. すべてのメカ部品をチェックして考えられる原因をすべて調べた上で、送信機のバッテリー電圧を確認します。 2. 赤色LEDが1秒ごとに1回点滅します。3. 赤色LEDが1秒ごとに2回点滅します。
- モーターから異音発生、動作しない。	1. モーターとESC間の半田付け不良。 2. ESC、モーター、車両トラブル。	1. すべての半田付け箇所を確認し、必要に応じて再半田付けを行ってください。 2. 修理カスタマーサービスについては販売店にご連絡して下さい。
- スロットルがニュートラルにもかかわらず、車がゆっくりと前進/後退する。	1. 送信機のニュートラル位置が安定していない可能性がある為、ニュートラル時のLEDを確認してください。	1. 送信機を交換してください。 2. スロットル範囲を再構成するか、送信機のニュートラル位置を微調整します。

*当社のウェブサイト、Instagram、TikTok、facebookをチェックして最新情報入手して下さい。

「ELITE V1.0」アプリをダウンロードしてください。

「ELITE V1.0」をタップしてアプリを起動します。

「Connect」をタップして接続を開始します。※2回タップすると「切断」されます

ESCデバイス名を検索して、正しく接続してください。

接続後、「Parameters」をタップして次の画面へ進みます。(接続が成功すると、4つのボタンが点灯します)

「Parameters」メニュー内で、5つのプログラム可能なセクションを選択できます。

お好みの設定をカスタマイズし、「Save」をタップしてパラメータを保存します。

ホーム画面または前のページに戻るには、「Home」ボタンをタップしてください。

Elite Programmable Features Description

GENERAL	Programming Code	Standard	Features Description
	A1. Motor Direction	* CCW	
	モーターの回転方向を変更できます。		
	A2. Operation Mode	* F / B / R	
	スロットル信号を3つ スロットル信号を3つのパターンに切り替えます:F/B=前進/ブレーキ F/B/R=前進/ブレーキ/バック F/R=前進/バック。		
	A3. Rev.Delay	* 2.0s	
	バックを使用する際、ニュートラル状態からバックに入るスロットル操作方法を変更します。数値を大きくするとバックに入るタイミングが遅くなります。		
	A4. BEC Voltage	* 6.0V	
	電圧出力を変更します。数値を上げるとパワーやサーボパフォーマンスが向上しますが、電子部品に負荷が係るので、注意して使用して下さい。		
	A5. Cutoff Volt (V/S)	* 6.5.V	
	バッテリー保護の為、設定の電圧までバッテリー電圧が下がると、Lipoカット機能が作動し、スロットル出力が制限されます。設定値が高いほどバッテリーには安全ですが、高く設定しすぎると、電圧降下しやすい状況ではLipoカット機能が作動しやすくなります。		

THROTTLE	Programming Code	Standard	Features Description
	B1. Throttle Response	*Middle	
	スロットルの反応スピードを調整します。Highにするとレスポンスは上がりますが、低グリップ路面では上げすぎると空転量が増えコントロールが難しくなります。		
	B2. PWM Drive Freq	*Middle	
	スロットル周波数を調整します。Highにするとマイルドなスロットルフィーリングとなり、下げるとアグレッシブなフィーリングになります。路面とマシンのトータルグリップが低いほど、高い設定値が適しています。		
	B3. Start Power	*3.0%	
	スロットル初期パワーを調整します。路面グリップの高い路面で、数値を上げると、蹴り出しが強くなり、マシンを前に出しやすくなります。		
	B4. Smooth Start Rate	*0%	
	スロットルオン時のタイヤの空転量を調整します。数値を上げるにつれて空転量は減り、路面を捉えやすくなります。		
	B5. Smooth Start Range	*20%	
	Smooth Start Rateが効くスロットルの範囲を調整します		
	B6. Neutral Range	*3.0%	
	スロットル ニュートラル→オン時のタイムラグを調整します。数値を下げる程リニアに反応しますが、初心者の方は数値を少し上げたほうが、マシンの挙動が穏やかになります。		

BRAKE	Programming Code	Standard	Features Description
	C1. Drag Brake	*10%	
	スロットルをニュートラルに戻したとき時に効くブレーキ量を調整します。ブーストやターボ値が高い場合は、この数値を上げるとコントロール性能が向上します。		
	C2. PWM Brake Freq	*2.0KHz	
	ブレーキの周波数を調整します。数値を高く設定することで、マイルドにブレーキが効くようになります。低グリップ路面で数値が低いとリヤタイヤのロックタイミングは早まり、滑りやすいので、高く設定することを勧めます。		

BOOST	Programming Code	Standard	Features Description
	D1. Boost Timing	*3.0 deg	
	モーター進角の可変量を変更しパワーを調整します。数値を上げる程、パワーは上がりますが、モーターやアンプの温度も上昇しやすくなるので、注意して調整して下さい。		
	D2. Throttle BST.Control	*50%	
	Boost の入るタイミングをスロットル開度に応じて調整します。20%と選択したら、スロットル開度20%にしたところから、Boostが動作します。		
	D3. Initial Boost	*1.0 deg	
	設定した Boost 値の初期からの効きを調整します。数値が高いほど、初期からBoostが強く効きますが、ホイールスピンを誘発しやすくなるので、低グリップ路面では数値を上げすぎると、コントロールが困難になります。		
	D4. Boost Inc.RPM	*1.0 deg/0.1s	
	Boost の上がり方を調整します。数値が高いほど、急激にBoostが立ち上がり、マシンの蹴り出しが強くなります。		

TURBO	Programming Code	Standard	Features Description
	E1. Turbo Timing	*38 deg	
	フルスロットルでのモーター進角を調整し、ピークパワーを調整します		

